

地球にやさしい紙ストローへ

国立京都国際会館は、1997年12月に「地球温暖化防止京都会議（COP3）」が開催され、「京都議定書」が誕生した地として、これまで、多くの地球環境に関連する会議の舞台となってきました。2019年5月6日～13日には、「気候変動に関する政府間パネル第49回総会（IPCC）」が開催され、再び京都が世界の気候変動の進展に重要な役割を果たしました。

京都市は、省エネ、ごみ減量、歩くまちなど様々な取組を積極的に進めており、「全国市区・サステナブル度・SDGs 先進度調査」（日本経済新聞社）において、全国第1位としてその実績が認められています。

この度、当館でも、サステナビリティとSDGsに対する理解を深めるため、海洋汚染を引き起こしているプラスチックごみ削減の取組みの一環として、レストラン「グリル」において、再利用が困難なプラスチック製ストローの使用をやめ、紙製ストローの提供を始めました。今後も更なる取組を推進して参ります。

